

Z世代のおりものシートに対する意識調査

目白大学 社会学部社会情報学科

チーム名：えぬびー メンバー：佐藤若菜 高木佑多 吉河月乃

調査目的・背景

「生理の貧困」は明らかになっているが、「おりものの貧困」に関するデータが少なく、現状が明らかになっていないことに疑問を感じた。

そこで長崎ゼミに所属する有志でZ世代（目白大学）の生徒のおりものに対する意識を調査し、マーケティングの視点からZ世代に効果的と考えられる、パッケージ案と浸透作の提案を行う。

アンケート調査概要

調査目的：Z世代女性のおりものシートに対する意識を探る

調査対象：目白大学の女子生徒（N=93）

調査内容：・おりものシートに対する事前意識

・実際におりものシートを使った感想

・パッケージ、個包装デザインへの意見

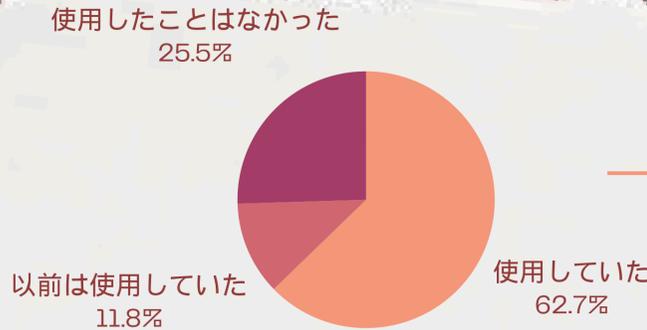
調査方法：調査対象者へおりものシートを配布し、

Googleフォームを用いたアンケート調査に回答してもらう

実施期間：2024年11月12日～12月9日

最終有効回答数：51件

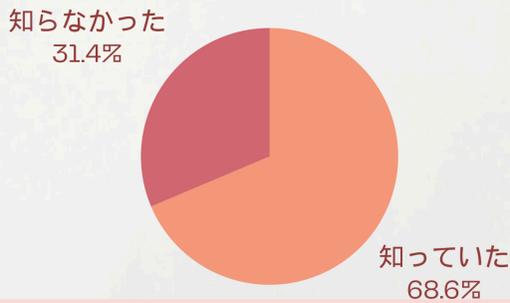
アンケート結果① 「おりものシート の使用経験 (N=51)」



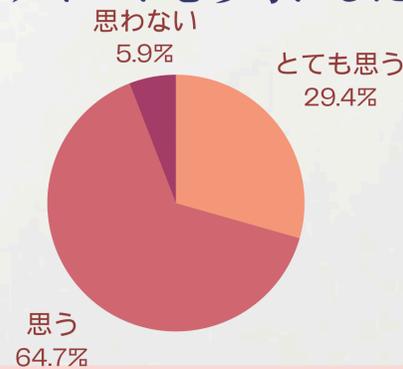
使用経験がある人の理由（自由記述）

- 下着を汚したくないから（12件）
- 生理前の予防（4件）
- 母親に言われたから（1件）

アンケート結果② 「おりものシートで健康状態を測れることを 知っていたか(N=51)」



アンケート結果③ 「配布したカラーチャートを参考にしたいと感じたか (N=51)」



アンケート結果④ 「おりものシートを使ってみた感想 (自由回答)」



健康状態チェックに繋がることは知らなかったのですが、意識して自分のその日の体調を確認するようになった。

(21歳 女性)



使用感がいい。
"付けてる感"が少ないので使いやすい。
(22歳 女性)



他社のもの比べてつけているのを忘れることが多かった。

(21歳 女性)



今回配布していただいたものは綿100だったからか、普段使用しているものよりも柔らかく感じた。

(22歳 女性)

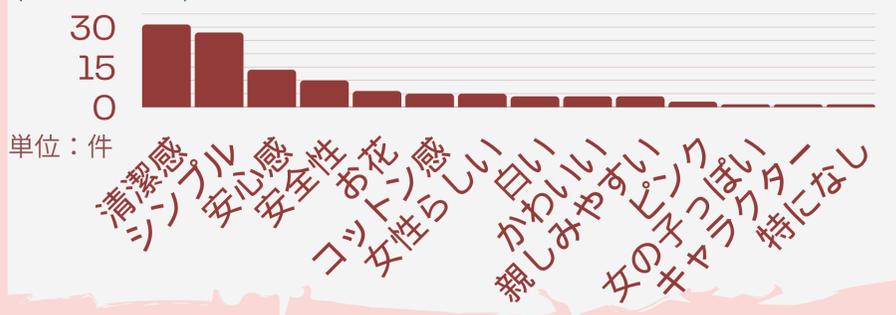
アンケート結果⑤

「おりものシートの外装パッケージに求める要素 (複数回答)」



アンケート結果⑥

「おりものシートの個包装パッケージに求める要素 (複数回答)」



アンケート結果⑦

4つの案から「購入したいパッケージ」



調査まとめ

- 課題① Z世代はおりものシートの使用率は高いが、下着を汚さないためのものとして使用している人が多く、おりものシートを健康状態を測るツールとして上手く活用しきれていない。
- 課題② おりものシートの現在のデザインはおりものシートだとわかりやすすぎてしまうため恥ずかしくZ世代には買いづらいなどを理由に親に買ってもらうなど自分での購買意欲が生まれていない。

提案するおりものシート



表面は、おりものシートとわかりやすすぎないデザイン。コットン100%という安全性や清潔感やシンプルなどZ世代が求める要素。

裏面は、おりもののカラーチャートを記載。記載することで、下着を汚さないためのものという意識から、「自分自身のために健康チェックをするもの」という意識を持たせる。

最後に、今回の調査に協力していただいた皆様、目白大学 新宿キャンパス学生会、目白大学学生課、長崎秀俊先生 感謝申し上げます。ありがとうございました。